

進路のみかた

いせはらしえんがっこう
伊勢原支援学校
れんけいしえん こんしんろしえんはん
連携支援グループ/進路支援班
れい わ ねん がつ にちはっこう
令和8年7月21日発行
だい ごう
第2号

ことし あつ ひ つづ すいぶんほきゅう はいりょ ねちゅうしやう き
今年も暑い日が続いています。水分補給などに配慮しながら熱中症に気をつけていきましょう。
こんかい し こうないじっしゅう しやうかい じっしゅう こうないじっしゅう げん ばじっしゅう わ こうない
今回のお知らせでは、校内実習について紹介します。実習は、校内実習と現場実習に分かれます。校内
じっしゅう せいこうたいけん じしん げん ばじっしゅう たいせつ がくねん
実習での成功体験と自信をベースにして、現場実習につなげることが大切になります。学年によって、一
もくひやう せってい さまざま くふう じっしゅう おこな よう す つた
人ひとり目標を設定し、様々な工夫をして実習を行いました。その様子をお伝えしていきます。

【本校高等部の校内実習について】

こうないじっしゅう がつようか げつ にち きん
<校内実習> 6月8日(月)～19日(金)

こんかい きんりん きぎやう く た し わ
今回は、近隣の企業から「ボールペンの組み立て」「ダスター(おしぼり)の仕分け」「CD ケースのリサ
いクル」「封筒のシール貼り」のお仕事をいただきました。校内からも普段手の行き届かない場所の清掃
ふうとう は しごと こうない ふだんて い とど ばしやう せいそう
や保護者向け配付冊子のとじ込みを受注しました。6月4日には実習壮行会を行い、各学年での目標
ほ ごしや む はいふさっし こ じゅちゅう がつようか じっしゅうそうこうかい おこな かくがくねん もくひやう
を発表しました。また、7月1日には実習報告会を行い、出来高や、実習を行った感想を発表しました。
はっぴやう がついつたち じっしゅうほうこくかい おこな できだか じっしゅう おこな かんそう はっぴやう
壮行会の時よりも、堂々と頼もしく発表する生徒の姿を見て、実習を通じて生徒一人ひとりが成長する
そうこうかい としき どうどう たの はっぴやう せい と すがた み じっしゅう つう せいとひとり せいちやう
ことができた期間だったのだと実感しました。

【1年生 ～ 知る ～】

ねんせい し
1年生にとっては初めての校内実習でした。実習の前の授業で「働くとはどんなことなのか?」「働く
ねんせい はじ こうないじっしゅう じっしゅう まえ じゅぎやう はたら はたら
うえて大切なことはなにか?」をよく考えて実習に臨みました。その結果、2週間の実習で体調の管理、
たいせつ かんが じっしゅう のぞ けっ か しゅうかん じっしゅう たいちやう かんり
時間を守ることに、元気よく挨拶をすること、報告・連絡・相談の大切さなどを「知る」ことができました。ど
じかん まも げん き あいさつ ほうこく れんらく そうだん たいせつ し
れも働くうえて基本中の基本ですが、このことを忘れずに、今後の学校生活や実習を過ごしていきま
はたら 基本中の基本ですが、このことを忘れずに、今後の学校生活や実習を過ごしていきま
し
よう。

【2年生 ～ 広げる(チャレンジ) ～】

ねんせい ひろ
2年生は昨年度の経験を土台にさらにステップアップできるよう、得意なことだけでなく新たなことにも
ねんせい さくねんど けいけん どだい とく い あら
「チャレンジ」する姿が見られ、作業種や作業時間などの幅を「広げる」こともできました。
すがた み さぎやうしゅ さぎやうじかん はば ひろ
2学期以降の現場実習につながる「よい準備」ができたと思います。

【3年生 ～ 決める ～】

さすがは3年生。全員が現場実習を意識した取り組みを見せていました。卒業後の進路先を「決める」ために、それぞれが自分の目標を意識して校内実習に取り組んでいました。「働く姿勢」が常に真剣で、集中している様子が3年生にはありました。

それぞれの学年の学びの成果を、作業の授業を始め、学校生活に活かすとともに、卒業後の生活につなげていきましょう。

【分教室の校内実習について】

＜校内実習＞ 6月15日（月）～26日（金）

伊志田分教室では、2、3年生は企業等の現場実習を行うことになっていますが、6月の2週間の実習期間に1年生は前期校内実習を行いました。作業は例年と同じくりサイクル工場からいただいた「LEDライトユニット(蛍光灯タイプ)」の分解作業および「CD/DVD」の分解分別作業です。校内実習のねらいは、2年生からの企業現場実習に備え、「①立ち作業に慣れること」「②挨拶、返事、報告・連絡・相談(ほう・れん・そう)といったビジネスマナーをしっかりと身につけること」です。また、「作業中にケガをしない」ことも大きな目標として掲げています。

LEDライトユニットの分解には、ドライバー(プラス、マイナス)、ペンチ、ニッパーといった工具を使います。CD/DVDの分解ではカッターも使います。こうした道具は正しい使い方をしないとケガにつながってしまいます。そのため、ゆっくり作業を進め、工具に慣れるところから始めました。

初めは慎重に取り組んでいた生徒たちでしたが、日を追うごとに手際が良くなり、作業スピードも格段にアップしました。作業工程には瞬間的に力が必要な工程もあり、最初は1つのLEDライトユニットの分解に5分以上かかっていた生徒も徐々にコツをつかみ、スムーズに進められるようになりました。2週間の実習で約2500本のLEDライトユニットを分解、梱包、納品することができ、CD/DVDは折りたたみコンテナを30ケース分以上分解、分別、納品することができました。生徒全員が安全に十分注意をしてケガなく作業を進められたのも立派でした。また、大きな声での挨拶、返事はもちろん、報告・連絡・相談もしっかりできるようになり、ふだんとは違う社会人の顔つきで仕事に取り組む姿に頼もしさを感じるほどでした。

まだ、長い時間の立ち作業や、仕事をする毎日に慣れていない様子も見られますが、卒業後の就業生活に向けて大きな一歩になった校内実習でした。10月の後期校内実習では更なる成長を遂げて、来年度の現場実習に向けて働く力を身につけていきたいと思っています。